

Fight!
Fukushima!

がんばろう
ふくしま!

週刊 避難者応援情報紙

浜通り

3月13日発行

Vol.96



ふくしまから
はじめよう。

Future From Fukushima.

さんじょうライフ



皆様の生活する上での不安や疑問を少しでも解消していただくための情報紙として、毎週お届けします。

縁 東日本大震災二周年追悼式典

感謝を忘れずに共に乗り越えよう



目次

●南相馬市HP「フォトレポ」より

- ・南相馬市東日本大震災追悼式 --- 2
- ・試練乗り越え涙の卒業式 ----- 2
- ・小高の復興願い桜植栽 ----- 2

●被災自治体News

- 南相馬市 ----- 3
- 浪江町 ----- 8
- 双葉町 ----- 9
- 大熊町 ----- 10
- 富岡町 ----- 13
- いわき市 ----- 13

●交流ルームひばり通信

- ・東日本大震災二周年追悼式典
----- 1・15~18
- ・佐藤英里ちゃんミニコンサートのお知らせ
----- 19
- ・第8回食事会のお知らせ ----- 19
- ・カレーラーメン券配布のお知らせ
----- 20



3/11 南相馬市東日本大震災追悼式

東日本大震災から2年。南相馬市東日本大震災追悼式が市民文化会館で行われ、768人が参列し、犠牲になられた方々の冥福を祈りました。

桜井市長が式辞を述べた後に、会場のスクリーンに政府主催の追悼式の映像を映し、震災が起きた午後2時46分に黙とうを捧げました。

遺族を代表して小高区の小野田聖一さんが追悼の辞を述べ、出席者全員が献花台に花を手向けました。



3/1 試練乗り越え涙の卒業式

県内の県立高校96校のうち、93校で卒業式が行われました。

相馬農業高校では80人が卒業を迎え、生産環境、環境緑地、食品科学の各科代表に校長から卒業証書が手渡されました。卒業生代表の藤田健宏さんは「全国、世界からの支援、友人や先生の励まして、前を向くことができました。震災後の地域、福島、日本を支える一人になりたい」と誓い、思い出の学びやを築立ちました。



式に臨む卒業生

代表に卒業証書

祝辞を述べる桜井市長

涙ぐむ姿も…

2/23 小高の復興願い桜植栽

浜通りの国道6号線沿いを桜並木で飾る「ふくしま浜街道・桜プロジェクト」が小高区で行われました。

小高区役所で開会式が行われた後、国道沿いの小高区女場地区に向かったボランティアなど約110人は、高さ約1メートルのソメイヨシノ100本を植栽しました。



開会式

植栽する参加者



南相馬市からのお知らせ

南相馬市民の避難状況

※南相馬市外に避難している人数

【都道府県別】

2013.3.7現在（南相馬市HPより）

都道府県	人数	都道府県	人数	都道府県	人数	都道府県	人数	都道府県	人数
福島県	6,757	群馬県	308	兵庫県	42	島根県	10	佐賀県	4
宮城県	2,720	山梨県	131	京都府	39	富山県	9	熊本県	4
山形県	1,191	秋田県	106	福井県	39	愛媛県	9	奈良県	3
新潟県	1,093	北海道	106	石川県	35	長崎県	9	山口県	-
東京都	916	長野県	103	沖縄県	30	福岡県	7	徳島県	-
埼玉県	815	岩手県	98	岐阜県	17	大分県	6	宮崎県	-
茨城県	729	静岡県	84	滋賀県	16	鳥取県	5	鹿児島県	-
千葉県	578	愛知県	50	広島県	16	香川県	5	※海外	14
栃木県	529	大阪府	46	岡山県	12	和歌山県	4	合計	17,255
神奈川県	502	青森県	44	三重県	10	高知県	4	(2/28)	17,307

【福島県内市町村別】

市町村	人数	市町村	人数	市町村	人数	市町村	人数	市町村	人数
相馬市	1,787	喜多方市	84	棚倉町	24	金山町	7	浅川町	2
福島市	1,653	会津坂下町	63	三春町	22	矢祭町	6	矢吹町	1
いわき市	751	南会津町	56	下郷町	16	石川町	6	広野町	1
郡山市	623	猪苗代町	45	磐梯町	14	北塩原村	5	合計	6,757
会津若松市	417	本宮市	42	西会津町	13	玉川村	5		
新地町	377	川俣町	36	会津美里町	12	古殿町	5		
二本松市	154	西郷村	36	小野町	12	平田村	3		
伊達市	147	鏡石町	32	国見町	9	天栄村	2		
須賀川市	110	田村市	30	大玉村	7	泉崎村	2		
白河市	105	桑折町	26	只見町	7	鮫川村	2		



南相馬市

みなみそうまチャンネル

Channel assist by
yoozma
www.yoozma.jp

番組内容 [3月11日～]

※1週間ごとに変ります。

パソコン視聴・アクティブラ配信

1. オープニング&今週の番組 [2分]
2. 3. 11東日本大震災二周年追悼市長メッセージ [5分]
3. 旧警戒区域内の復旧・復興市民説明会～小高区の進捗状況～ [7分]
4. ガンバレシブ 第37回～春菊の白和え～ [13分]
5. 市長2月定例記者会見 [16分30秒]
6. ノリノリ体操 [4分30秒]



みなみそうまチャンネルは、
交流ルームひばりのパソコンとテレビでもご覧いただけます。

3. 11東日本大震災2周年に寄せて(市長メッセージ)

3月8日HP更新

市民の皆さんこんにちは。南相馬市長の桜井勝延でございます。
早、2年が過ぎてしまいました。



忘れません。2011年3月11日。

あの大地震、大津波で、636人が亡くなってしまいました。

この悲しみをまだ引きずりつつも、更に起こった東京電力福島第一原子力発電所の事故によって、避難を余儀なくされ、そしてまた関連死ということで390の方が亡くなりました。

改めてご冥福をお祈りいたします。

しかしあの時から2年間、南相馬市、そして市役所は一日たりとも休むことなく、毎日一步一步前進してまいりました。

これもひとえに皆さんの生活をなんとかしたい。多くの方が避難をする中、残った人をなんとかしたい。戻った人を何とかしたい。

そういう思いで毎日、市をあげて、市職員あげて努力してまいりました。

多くの方がまだ精神的な苦痛を負い、家族がばらばらになって苦しんでいます。

除染もようやく、昨年9月から始まりました。しかし、まだまだ進んでいると言える状況ではありません。

けれども市民の皆さんの力で、南相馬市が今46000人まで回復いたしました。

市外に多く避難をされている市民に対しても、南相馬市が少しずつ復興していることは、勇気づけとなることと信じます。

昨年南相馬市では、新たな工業団地を手に入れました。そこには今年、太陽光パネル製造メーカーが稼働いたします。

被災した農地に、新たに太陽光発電を利用した植物工場が、3月から稼働いたします。

子どもたちが戻れるためにホールボディカウンターで、年に2回ずつの検診を致します。

介護福祉サービスを担う人のために、無料でヘルパーの資格が取れる制度を、創設します。

一つひとつみんなが、南相馬市に暮らせるための環境づくりのために、努力してまいりたいと思っております。

次ページへ続きます ▶

今年は復興元年から形を変えた復興にして行く年です。

特に旧警戒区域の小高区の復旧復興は何よりも急がなければなりません。

交通インフラの確保、常磐自動車道の早期開通、そして小高区がみんなが戻れる環境づくりのために、全力で25年度いっぱい全身全霊をもって対応してまいります。

小高区の皆さんも南相馬市に戻って生活できるように、努力してまいります。

子どもたちが元気よく卒業していきました。

「南相馬市で働きたい」そして「将来南相馬市に戻って働きたい」という子どもたちがいっぱい出てきております。

南相馬市に住む私たちが、彼らを勇気づけるだけでなく、彼らから勇気をもって新たな南相馬市づくりに取り組んでまいります。

どうかこの2年間で、我々のこれからの南相馬市づくりの糧としつつがんばってまいりますので、一緒に南相馬市づくりに努力してまいりましょう。

2年間、皆さん本当にご苦勞様でした。

一緒に今後ともがんばってまいりましょう。

ありがとうございました。

平成25年3月8日

南相馬市長

桜井勝延

ホームページ一部機能の停止について

3月11日HP更新

システムメンテナンスのため、次のとおりホームページの一部機能が停止します。
ご迷惑をおかけしますが、ご了承ください。

停止日時	停止する機能
3月17日(日) 13:00～19:00	議会中継、議会議事録検索、スポーツ施設予約
3月20日(水/祝) 8:00～19:00	議会中継、議会議事録検索、スポーツ施設予約、蔵書検索システム
3月23日(土) 8:00～19:00	議会中継、議会議事録検索、スポーツ施設予約、蔵書検索システム
3月24日(日) 8:00～19:00 ※作業の進捗により実施しない 可能性もあります。	議会中継、議会議事録検索、スポーツ施設予約、蔵書検索システム

問い合わせ

情報政策課 情報政策係／統計係

TEL 0244-24-5213

臨時職員を募集します

3月12日HP更新

南相馬市では、次の臨時職員を募集します。

職種および勤務条件

No	職種(資格)	配属先	業務内容	賃金	採用予定人数
1	事務補助員	農林水産課	【結いの里づくり推進事業】市内全組織の活動成果の収集と製本・配布、農業環境保全組織への経理支援	132,300円	1人
2	作業員	農林水産課	【里山農業保全活動事業】山際の巡視、サルの捕獲・追い上げ、被害状況調査・指導	132,300円	1人
3	事務補助員	農林水産課	【南相馬農業振興地域整備計画総合見直し事業】市内の農業振興地域用地の台帳及びデータ整理・作成	132,300円	1人
4	事務補助員	生活環境課	【災害廃棄物仮置場事業】災害廃棄物仮置場の実績集計 報告書等の管理業務 委託業者との連絡調整	132,300円	1人
5	事務補助員	商工労政課	【被災工業用地整備開発事業】工業用地開発に係るデータ整理等の事務補助	132,300円	1人

※「震災等緊急雇用対応事業」であり、被災求職者を優先的に雇用します。

- 【雇用期間】 平成25年4月1日～平成26年3月31日
- 【就業時間】 午前8時30分～午後5時15分
- 【週休日】 週休2日制
- 【加入保険】 健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険
- 【応募条件】 (1)各職種に応じた資格免許
(2)普通自動車運転免許

応募方法

ハローワークを通して応募してください。後日、面接の日程をお知らせいたします。

※ **必要書類**:履歴書、職務履歴書、資格証の写し、自営業者の場合は廃業届など

【書類提出先】

〒975-8686 南相馬市原町区本町二丁目27番地
南相馬市役所 商工労政課 雇用対策係

問い合わせ

商工労政課 雇用対策係

TEL 0244-24-5346

相双地域雇用創造推進協議会職員を募集します

3月12日HP更新

相双地域雇用創造推進協議会では、次の職員を募集します。

職種および勤務条件

職種	勤務先	業務内容	賃金	採用予定人数
事業推進員	協議会事務局 (南相馬市役所 西庁舎1階)	【雇用創造推進事業】 相双地域の雇用創造事業の実施。総合的なソフト事業の作成、関連事業の提案・支援事業の取りまとめ、協議会の庶務業務など。	198,700円	1人

- 【雇用期間】 平成25年4月1日～平成26年3月31日
(雇用期間延長あり。最長平成27年3月31日)
- 【就業時間】 午前8時30分～午後5時15分
- 【週休日制】 週休2日制
- 【加入保険】 健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険
- 【必要な資格・経験】 普通自動車運転免許(一種)およびパソコン操作

応募方法

ハローワークを通して応募してください。後日、面接の日程をお知らせいたします。

※ **必要書類**: 履歴書、職務履歴書

【書類提出先】

〒975-8686 南相馬市原町区本町二丁目27番地
南相馬市役所 商工労政課 雇用対策係

問い合わせ

商工労政課 雇用対策係

TEL 0244-24-5346



浪江町からのお知らせ

桑折町、福島市内の仮設住宅の空間放射線量測定結果(3月6日測定)

3月6日HP更新

(測定地:地上高H=1.0m 単位: μ Sv/h)

測定地	11/16 晴	11/30 曇	12/13 晴	12/28 曇	1/9 雪	1/23 晴	2/7 晴	2/20 曇	3/6 晴
桑折駅前仮設住宅(第一集会所)	0.09	0.10	0.09	0.09	0.11	0.08	0.09	0.08	0.09
桑折駅前仮設住宅(第二集会所)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.09	0.10	0.09	0.10
桑折駅前仮設住宅(第三集会所)	0.12	0.13	0.13	0.12	0.13	0.12	0.11	0.12	0.12
宮代第二仮設住宅(集会所)	0.16	0.17	0.16	0.16	0.16	0.13	0.15	0.15	0.14
宮代第一仮設住宅(集会所)	0.19	0.20	0.19	0.19	0.19	0.13	0.15	0.18	0.18
北幹線第一仮設住宅(北集会所)	0.10	0.11	0.10	0.11	0.10	0.09	0.09	0.09	0.09
北幹線第一仮設住宅(南集会所)	0.12	0.12	0.11	0.12	0.12	0.10	0.10	0.11	0.11
笹谷東部仮設住宅(東集会所)	0.14	0.14	0.14	0.13	0.14	0.12	0.14	0.14	0.12
笹谷東部仮設住宅(西集会所)	0.19	0.20	0.21	0.21	0.19	0.18	0.18	0.19	0.18
南矢野目仮設住宅(北集会所)	0.10	0.09	0.08	0.09	0.09	0.08	0.09	0.09	0.09
南矢野目仮設住宅(南集会所)	0.09	0.08	0.08	0.09	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08
森合仮設住宅(中央)	0.31	0.33	0.32	0.33	0.32	0.24	0.27	0.28	0.30
しのぶ台仮設住宅(階段掲示板前)	0.09	0.10	0.09	0.09	0.09	0.06	0.09	0.08	0.09
旧佐原小学校仮設住宅(談話室)	0.06	0.07	0.07	0.06	0.06	0.05	0.05	0.05	0.06

問い合わせ

災害対策課 放射線対策係

TEL 0243-62-0152

2月26日(火)「みんなのれんらく帳」発行記念式

浪江町HP「最近の活動記録」より

みんなのれんらく帳は3月上旬に発送します。犯罪に悪用されないよう、紛失などに気を付けてください。(役場二本松事務所)



問い合わせ

復興推進課 情報統計係

TEL 0243-62-4731



双葉町からのお知らせ

双葉町長選挙 投票状況および開票結果について

3月10日HP更新

3月10日執行の双葉町長選挙の投票状況および開票結果をお知らせします。

選挙当日の有権者数

	男	女	合計
当日有権者数	2,588人	2,772人	5,360人

投票状況

	男	女	合計
当日投票者数	240人	219人	459人
期日前投票者数	983人	1,114人	2,097人
不在者投票者数	196人	281人	477人
投票者総数	1,419人	1,614人	3,033人
最終投票率	54.83%	58.23%	56.59%
(前回投票率)	74.54%	80.40%	77.55%

開票結果

当落	候補者氏名	党派	得票数
当	いざわ 史朗	無所属	2,470票
	丹野 恒男	無所属	187票
	尾形 あきひろ	無所属	153票
	そめもり 信也	無所属	49票
小計(有効投票数)			2,859票
無効			174票
計(投票総数)			3,033票
入場したが投票しなかった者			0票
不受理			0票
合計(投票者数)			3,033票

(開票率100%)

問い合わせ

双葉町選挙管理委員会(双葉町埼玉支所総務課内)

TEL 0480-73-6880(代)

応急仮設住宅等の環境放射線量率簡易測定結果について

【測定日：平成25年3月1日(金)】

3月8日HP更新

測定箇所	各集会所提示板前 簡易測定値(μSv/h)		敷地内高線量地点 簡易測定値(μSv/h)	
	地上5cm 測定値	地上1m 測定値	地上5cm 測定値	地上1m 測定値
福島市：北幹線第二応急仮設住宅	0.213	0.228	0.564	0.456
福島市：さくら応急仮設住宅	0.131	0.117	0.160	0.136
郡山市：富田応急仮設住宅	0.383	0.378	0.478	0.456
郡山市：喜久田応急仮設住宅	0.117	0.119	0.237	0.337
郡山市：日和田応急仮設住宅	0.178	0.254	1.385	0.734
白河市：郭内応急仮設住宅	0.160	0.135	0.298	0.257
会津若松市：城前応急仮設住宅	0.095	0.079	0.131	0.087
猪苗代町：上川原応急仮設住宅	0.079	0.061	0.079	0.061
いわき市：南台応急仮設住宅	0.060	0.053	0.081	0.063
つくば市：つくば連絡所	0.261	0.233	0.261	0.233

問い合わせ

双葉町埼玉支所 住民生活課

TEL 0480-73-6880(代)



大熊町からのお知らせ

町内立入り時の火気の扱いについて

3月11日HP更新

ただいま、7巡目の一時帰宅が行われておりますが、春先で空気が大変乾燥し、火災が起きやすくなっております。

浪江町では、3月10日に墓地から出火し、4ha延焼しております。

また、町内墓地で発煙を認め、消防署で対応したこともあります。

帰還困難区域等である町内で火災が発生すると、避難指示により町民がいらないため、発見が遅れ大規模な火災に発展する恐れがあります。

町内に入られる場合は次の点に十分注意してください。

- (1)お線香、ローソクなど火気の使用は控えてください。
- (2)たばこの投げ捨てはしないでください。
- (3)焚き火はしないでください。
- (4)ガスコンロは使用しないで、ガスの元栓やボンベのバルブを閉めてください。

問い合わせ

大熊町役場会津若松出張所 環境対策課

0120-26-3844(代)

震災から2年が経過して（町長メッセージ）

3月11日HP更新

平成23年3月11日、東日本一帯を襲った大地震と巨大津波は、当町に未曾有の被害をもたらし、11名の方が尊命を亡くされ、1名の方が依然として行方不明となっております。また、発災以降本日まで、原発事故による避難中に211名の方々がお亡くなりになりました。この震災により、多くの町民の方々が犠牲になられたことは、誠に痛恨の極みであり、今はただ、御霊のご冥福を心からお祈りするばかりです。



最愛の肉親を亡くし、ご自身も被災者であるご遺族の皆様は、今なお、不自由な避難生活を強いられているところであり、高い放射線量に阻まれ、納骨もままならず、満足に供養することもできないといった深い悲しみ、喪失感、察するに余りあるものがあります。

賠償についても、土地、建物、精神的損害については、5年間戻らないことにより、区分けによる賠償の差を解消することになりました。一括請求も可能となり、生活再建に向けて、第一歩を踏み出すことができると確信しています。町としても、賠償問題が円滑に進むよう、町民に寄り添う体制で臨んでまいります。

大熊町は発災から2年が経過した本日まで、全町民が避難を余儀なくされており、この間、国や福島県、会津若松市、いわき市をはじめ県内の各自治体、全国各地から数多くのご支援をいただきました。ご厚情の数々に深く感謝を申し上げます。

全町民が避難生活3年目を迎えますが、昨年9月に策定した大熊町復興計画を基に、議会と行政が一体となり、一日でも早く一人でも多くの町民が大熊町に帰還できるように引き続き努力してまいります。

今年4月には、復興事業課をいわき連絡事務所に移し、除染・インフラ復旧事業を進め、さらに坂下ダムに現地連絡事務所を設置し、町内立入者の安全確保を図ります。

次ページへ続きます 

また、国から提案がありました中間貯蔵施設につきましては、施設そのものの安全性や周辺環境への影響、最終処分の考え方などを議会や町民の皆様と十分協議の上、判断していきたいと思っております。

今回の災害が大熊町に与えた影響は計り知れず、課題は山積しておりますが、町民の皆様の生活と健康を守るという原点に立ち返り、復興に向けて懸命にそして着実に前へ進んでまいりますので、今後とも皆様のご協力、ご支援をお願い申し上げます。

平成25年3月11日

大熊町長 渡辺 利綱

平成25年度国民健康保険被保険者証の一括更新(発送)について

3月11日HP更新

現在交付している平成24年度の保険証の有効期限は、平成25年3月31日までとなっております。

このことに伴い、4月1日から使用していただく、平成25年度の保険証について、**3月22日(金)に簡易書留郵便にて発送する予定です。**

同じ世帯の方でも避難先住所によって送付先が違う場合がありますので、同一世帯員の保険証が届かないなどありましたら、確認はそれぞれ世帯内で行うようお願いいたします。

郵便局からの配達は、件数が多いため順次配達されるとのことでしたので、お手元に届くまでしばらくお待ちいただき、万が一、保険証が手元に届かない場合は、4月1日(月)以降に役場住民課国保年金係までお問い合わせください。

簡易書留郵便とは、普通郵便のように、郵便物を各家庭の郵便受けに入れるのではなく、郵便局の配達員が直接手渡しする方法で、受領印が必要となります。配達時にご不在の場合は、郵便局の配達員が「郵便物等お預かりのお知らせ」を置いていきますので、都合のいい日時に再配達を希望されるか、または直接郵便局でお受け取りください。(保管期間は一週間程度)

受け取り方など、詳しくは「郵便局等お預かりのお知らせ」でご確認ください。

※有効期限の切れた保険証は、4月1日以降細かく切って破棄してください。

※避難先住所不明者、転出予定者への保険証発送はいたしません。

※マル学保険証の方へは別途通知を送りますのでお待ちください。

問い合わせ

大熊町役場会津若松出張所 住民課 国保年金係
0120-26-3844(代)



富岡町からのお知らせ

避難指示区域見直しが決定

3月8日HP更新

国の原子力災害対策本部会議が3月7日に行われ、東京電力福島第一原子力発電所の事故に伴い設定されていた避難指示区域の見直しが決定されました。

現在、町は「警戒区域」に設定されておりますが、**平成25年3月25日(月)午前0時**より、「避難指示解除準備区域」「居住制限区域」「帰還困難区域」の3つの避難指示区域に再編されます。

3つの避難指示区域は、広報とみおか3月号に同封いたしましたA3版カラー地図「避難指示区域見直し(富岡町案)」のとおりです。

なお、立入りに関する注意事項、その他詳細については、町から発送します『富岡町への立入りのしおり』(避難指示区域の見直しに伴うご案内)をご覧ください。

避難指示解除見込み時期について

インフラ復旧や除染の見通しなどを検討した結果、以下のようになります。

- (1) 「帰還困難区域」は平成23年3月11日から6年
- (2) 「居住制限区域」および「避難指示解除準備区域」は平成23年3月11日から5年

※ 避難指示解除見込み時期は、財物賠償の早期支払い等のために、ひとまずの”見込み”時期を定めたものであり、実際の避難指示解除時期は、今後のインフラ復旧や除染、生活環境整備等の進捗状況を踏まえたうえで、あらためて関係機関と協議した上で決定します。



いわき市からのお知らせ

市長からのメッセージ(震災から2年を迎えて)

3月11日HP更新

東日本大震災から2年を迎え、改めて、お亡くなりになられた方々に対し、謹んで哀悼の誠を捧げますとともに、御遺族の皆様に対し、衷心よりお悔やみを申し上げます。また、被災された方々に対しまして、心からのお見舞いを申し上げます。

さらには、震災対応に当たりましては、自衛隊や海上保安庁、警察、消防団をはじめ多くの関係各位による懸命の救助や捜索など、献身的な活動に対し、心から敬意と感謝の意を表する次第であります。

人知を超えた巨大地震と津波、その後の余震は、本市に甚大な被害をもたらし、あまりにも多くの尊い命を奪い去りました。



次ページへ続きます

沿岸部におきましては、海が突然に牙を剥き、愛する家族や友人、住み慣れた家や町並み、そして思い出までも呑み込み、後には見渡す限りのおびたしい瓦礫だけが残されました。その一つ一つが、家族と過ごした家の柱であったり、思い出の詰まったアルバムであったり、愛着のある鞆や教科書であったり、このいわきの地で生まれ育った証となる大切な品々でした。

愛する人たちを残し、あまりにも突然に、かけがえのない人生を奪われた方々の無念さに思いを致すとき、また、いとおいしい人を一瞬のうちに失い、決して癒えることのない深い悲しみや絶望感を抱えながらも、必死に耐えてこられた御遺族の御心中をお察し申し上げますとき、この胸に込み上げる悲しみをこらえることができません。

あの日から、早や2年の月日が経過いたしました。この震災により多くの方々が帰らぬ人となったことは、私たちいわき市民にとって、永遠に忘れることのできない深い悲しみであります。

東日本大震災は、世界にも類例のない複合災害となり、あまりにも深く、大きな爪痕を残しました。そして、今なお、多くの市民の皆様が震災前の生活を取り戻すことが叶わず、大変な御苦勞をされております。

震災以降、私は、国内はもとより、世界中の皆様からの多くの御支援と温かい励まし、そして市内外からのボランティアの皆様のお力添えを賜りながら、市民の皆様のご生活再建を第一に、復旧・復興の推進に全力で取り組んで参りました。

昨年8月、四倉地区におきましては、津波により壊滅的な被害を受けた「道の駅よつら港」が再開するなど、復興に向けた希望の光が、市内各地域で灯りはじめています。また、被災された方々が一刻も早く本格的な生活再建を果たす上で、重要な課題の一つであります、災害公営住宅につきましても、昨年10月に、常磐・関船団地の整備に着手いたしました。

こうして、復興の槌音が響きはじめたことにより、徐々にではありますが、市民の皆様にも復旧・復興に向かう本市の姿を感じ取っていただけるようになったものと存じます。

復興までの道程は決して平坦なものではありません。しかし、私は、すべての市民の皆様が震災前の平穏な生活をいち早く取り戻し、将来に希望と期待の持てる魅力と活力に満ち溢れたまちをつくるため、市民の皆様と心ひとつに力を結集しながら、全身全霊をかけて取り組んで参る覚悟であります。

時計の針を戻すことができたならと、御遺族ならずとも多くの方々が願ってきたところであります。しかしそれは、無情にも叶わぬことであり、私達は前に進むほか途はありません。犠牲となられた方々に報いるためにも、この大災害を貴重な教訓として強く心に刻み、世代を超えて語り継いでいくとともに、ふるさといわきを再生することこそが、私に課せられた最大の責務であると信じております。

犠牲となられた方々の御霊の前に、これまでの私たちの足取りを御報告申し上げ、とこしえに安らかならんこと、天空にあって愛してやまない御家族に限りない御加護を賜りますことをお祈り申し上げますとともに、これからも輝かしい未来を目指して力強く歩む私たちを見守りくださるよう念じながら、併せて、御遺族の皆様方に深甚なる弔意を表する次第であります。

結びに、私は、多くの犠牲をかたときも忘れることなく、これまで御支援いただいた方々に心から感謝しつつ、いかなる困難が待ち受けようともこの震災からの復興を必ずや成し遂げるとともに、さらなる飛躍を目指し、市民の皆様と共に手を携え、最善を尽くして参ります。

平成25年3月11日 いわき市長 渡辺敬夫

縁 東日本大震災二周年追悼式典

—感謝を忘れずに共に乗り越えよう—



被災者代表・村田良隆さん 追悼の言葉

平成二十三年三月十一日、未曾有の「東日本大震災」が起きてから、明日でちょうど二年が経ちます。

ここに、その追悼式にあたり被災者を代表し、追悼の言葉を述べさせていただきます。ふきのとうも顔を出し始め、日一日と暖かさを増してきたこの頃、本日ここに、三条市長さんをはじめ、多くの関係方々のご出席を頂き、式典を執り行うことができますこと、深く感謝申し上げます。

この震災により、多くの尊い命、そして、住み慣れた町並みを一瞬にして奪い去った「東日本大震災」。

亡くなられた方々、並びにご遺族の方々に心より哀悼の意を捧げます。

今、三条市にお世話になっている私達は「原発事故」による避難者が多く、避難を余儀なくされています。

今、私達にとって望むことは、警戒区域が早く解除になり、一日でも早く生活再建ができるように取り戻すことが第一の願いです。

しかし、復興庁が県内に開設されたとは言え、いまだ何一つ進んでいないのが現状です。スピード感をもって、復興の実感が肌で感じられるようお願いしたいものです。

二年が過ぎた今、三条市はじめ、多方面からの支援を頂き、何とか今日まで前向きに進んでまいりました。今も支援を続けて下さっている三条市の皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。微力だとは思いますが、この「ご恩」をいつかお返しできればと思いつつ、これまで以上に、ご縁を大切にしていきたいものです。

また私達は、震災によって多くのお亡くなりになられた方々の分まで、強い気持ちを持ち、頑張ってお返ししたいと思います。

最後に、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、ご遺族の皆様方に心よりお悔やみ申し上げ、追悼の言葉といたします。

平成二十五年三月十日

被災者代表

村田良隆

縁 東日本大震災二周年追悼式典

—感謝を忘れずに共に乗り越えよう—



三条市 國定勇人市長 追悼の言葉

本日ここに、東日本大震災二周年追悼式典が執り行われるに当たり、謹んで追悼の言葉を捧げます。

東日本大震災の発生から二年が過ぎようとしております。震災で失われた多くの御霊に対し、改めて心から哀悼の意を表するものであります。

この千年に一度とさえ言われる震災は、私たちから大切なものを容赦なく奪っていきました。それは、天が与えた試練と言うには、余りにもむごいものであります。

そして、今もってなお、多くの皆様方が復旧、復興の見込みが立たない状況にあります。改めて被災された多くの皆様方に、心からお見舞いを申し上げます。

震災からの復旧、復興は、日本全国からの多くの人々の尽力、協力によって、着実に進んでおりますが、被災地は、未だ震災以前のまちの姿に戻ったとは決して言い難く、完全なる復興までに要する労力が尋常なものではないことを、また、本当に大変な国難であるということも、改めて思い知らされております。

しかし、無念の想いで犠牲になられた数多くの方々のためにも、この苦境を乗り越え、互いに助け合いながら、前を向いて力強く生きていくことが、残された私たちの使命であると思っております。震災から二年を迎える今、すべての国民が気持ちを新たに一致団結し、復興に向けて、この国難を乗り越えていく想いが、改めて共有されることを切に願うものであります。

そして、今もなお三条市内で避難生活を送られている197名の方々の、未来に向けての勇気ある一步一步の歩みを、私は、これからも変わることなく、精一杯お支えしていくことをここにお願い申し上げます。

もうすぐ桜の季節であります。避難生活を送られている皆様全員が、それぞれのふるさとの地で、この季節を迎えることが叶う日まで、どうか気持ちの中では三条市民として、これまでの月日で築き上げてきた絆と互いの信頼関係を支えとしながら、平穏な生活を送っていただけることを、心から願っております。

終わりに、震災の犠牲となられた皆様のご冥福をお祈りし、ご遺族の皆様には深い哀悼の意を表しまして、追悼の言葉といたします。

平成二十五年三月十日 三条市長 國定勇人

縁 東日本大震災二周年追悼式典

—感謝を忘れずに共に乗り越えよう—

3月10日（日）総合福祉センターで東日本大震災二周年追悼式典が行われ、避難者の皆さんや三条市民の皆さん合わせて約100人の方に参加していただきました。

第1部の追悼セレモニーは、午後1時から総合福祉センター内通路にて行われました。



進行係を
していただいた
大山さん

次ページへ続きます ▶

(つづき)

第2部は場所を移して、多目的ホール内にて避難者交流会が行なわれました。

MCをしていただいた、きよ里さんと縁竹縄さん。
素晴らしいトークで会場を盛りあげていただきました。

アトラクション1番手は、三条小学校5年生児童の皆さん。
金物太鼓を披露していただきました。
一生懸命太鼓を叩いている様子に感動です。



続いて、きよ里さんトシ遠藤さんによる三線とギターのコラボ。
きよ里さんの歌声にも、皆さん聴き入っていました。



3番目に登場していただいたのは、
燕市に避難している有志によるフラダンス。
飛び入り参加の児童がステージ上で
笑顔で踊っている様子に癒されました。

次は、燕市出身江辺玲子さんに二胡を演奏していただきました。
すばらしい音色に皆さん聞き入っていました。



トリを飾っていただいたのは、
三小相承会の皆さんによる三条太鼓
です。

●飲食ブースで出されました
「塩ちゃんこ」・「ピアンポポロさんのスイーツ」
とっても美味しかったです、と多くの方が話されて
いました。

ご協力いただきました皆さん
本当にありがとうございました。

ひばりスタッフ 一同

佐藤英里ちゃんミニミニコンサートのお知らせ!

皆さんが三条市の避難所生活をされていた時に、素晴らしい歌声を披露して、笑顔と元気をくれた佐藤英里（ひらり）ちゃんと、賛助出演の野村俊雄さんが、交流ルームひばりにてミニコンサートを開いていただけることになりました。

英里ちゃんの歌声を聴いて元気づけられた方も多くいたことと思います。

3~4曲披露していただき、避難者の皆さんと、おしゃべりしましょうと話していました。

多くの方の参加をお待ちしております。



平成23年5月5日
避難所だった総合福祉センターの
多目的ホールで行われた
ピアノ弾き語りの時の写真です。

- とき **3月23日 土** 午前10時30分~11時30分頃
- ところ **交流ルームひばり** (総合福祉センター内)

第8回 食事会のお知らせ

■ とき・ところ

3月22日(金) 総合福祉センター 3階
調理 9時~(調理実習室)
会食 12時~(3階会議室)

■ 参加対象 三条市に避難されている方
(食事会のための参加も大歓迎!)

■ 参加費 一人 300円

★ **3月15日(金)までに**
ひばりにお申し込みください。

こんだて

焼き魚の野菜蒸し
のっぺ汁
冬菜のサラダ
イチゴ大福(デザート)



前回の食事会

問い合わせ **交流ルーム ひばり** (総合福祉センター内)

TEL 0256-33-8650

E-mail hibari_sanjo_nyh@yahoo.co.jp

[開館時間] 9:30~18:00 [休館日] 毎週木曜日

カレーラーメン券配布のお知らせ

二周年追悼式典の避難者交流会の中で、三条地区BBS会さんから「三条地区へ避難している未成年者の皆様」へいただいたカレーラーメン無料引換券、カレーラーメンマップ、カレーラーメン体操のDVDを、今週号の浜通りさんじょうライフと一緒にスタッフが配布します。

3月17日（日）総合福祉センターで行われる三条おもちゃフェスティバルにお越しの際には、引換券を忘れずにお持ちください。



無料引換券



カレーラーメンマップ



カレーラーメン体操DVD

問い合わせ 交流ルーム ひばり（総合福祉センター内）

TEL 0256-33-8650

E-mail hibari_sanjo_nyh@yahoo.co.jp

[開館時間] 9:30~18:00 [休館日] 毎週木曜日

被災自治体 問い合わせ先一覧

市町村名	電話番号	以下の町は役場機能が移転しています。
南相馬市	0244-24-5232	浪江町: 平石高田第二工業団地内 (二本松市北トロミ573番地)
浪江町	0243-62-0123	
双葉町	0120-455-770	双葉町: 旧騎西高校 (埼玉県加須市騎西598-1)
大熊町	0120-26-3844	大熊町: 会津若松市役所追手町第二庁舎内 (会津若松市追手町2番41号)
富岡町	0120-33-6466	
川内村	0240-38-2111	富岡町: 郡山市大槻町西ノ宮48-5
いわき市	0246-25-0500	
福島市	024-535-1111	
郡山市	024-924-2491	

三条市に避難している世帯数(2013.3.13現在)

市町村名	世帯数
南相馬市小高区	40
南相馬市原町区	8
南相馬市鹿島区	1
浪江町	8
双葉町	4
大熊町	2
富岡町	2
川内村	1
いわき市	1
福島市	1
郡山市	10

発行/三条市総務部政策推進課 三条市旭町二丁目3番1号
Tel 0256-34-5511